

第4学年 道徳科 授業構想シート

授業者 糸我 直人

本実践の主張点	「友達」についての学級の追求テーマを設定し、それに関わる価値項目を複数多時間扱うことで、多面的・多角的に考え、自己のよりよい生き方について追求する道徳科における探究力を育成することができるだろう。
---------	--

1. 単元名 『友達との絆を高め、心一つに』

2. 4年B組の子ども

4月に子どもたちが話し合っって学級目標『心一つにしてなにごともがんばれる4Bファミリー』を作った。また、子どもたちから『きのくにチャレンジランキング』の8の字跳びをしたいという声があり、300回の壁を乗り越えるという目標を掲げ、クラスで取り組んできた。子どもたちは、心一つにすることの大切さを感じているが、友達との話し合いで、自分の意見を押しすぎてしまったり、互いの意見が違ふと折り合いがつけられなかったりしてもめてしまうことがある。また、高学年へと向いつつあるこの時期は、ともすると、傾向を同じくする閉鎖的な仲間集団を作り出す傾向もある。そこで、友達とのよりよい関係の在り方や異なる考えや意見を大切にすることについて考えることで、互いに理解し、助け合える仲間集団に育つのではないかと考える。

3. 何ができるようになるか

探究力	省察性
<ul style="list-style-type: none"> 「友達とのよりよい関係のあり方」について様々な角度から価値を見だし、友達関係をよりよくしていくためには、どんなことを考え行動していけばよいかを考え実践しようとする力（道徳的な実践意欲と態度） 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の友達関係における現状を振り返りながら、よりよい友達関係づくりについて考える力（道徳的な実践意欲と態度を支える省察性）

4. 何を学ぶのか

① 単元の目標

「友達とのよりよい関係のあり方」について様々な視点から考えようとする力を育てる。

② 教材の価値

子どもたちが4月に話し合っって作った学級目標『心一つにしてなにごともがんばれる4Bファミリー』を軸に、『心一つにチャレンジプロジェクト』という単元テーマを設定した。学級目標やクラスで取り組んでいる8の字跳びと関連付けながら、「友達との関係の在り方」について複数価値多時間で道徳の時間に追求することで、一人一人が、自分の中にある「友だちとの関係の在り方」について、様々な視点から見つめ直すことができると考える。

③学年間・教科間のつながり

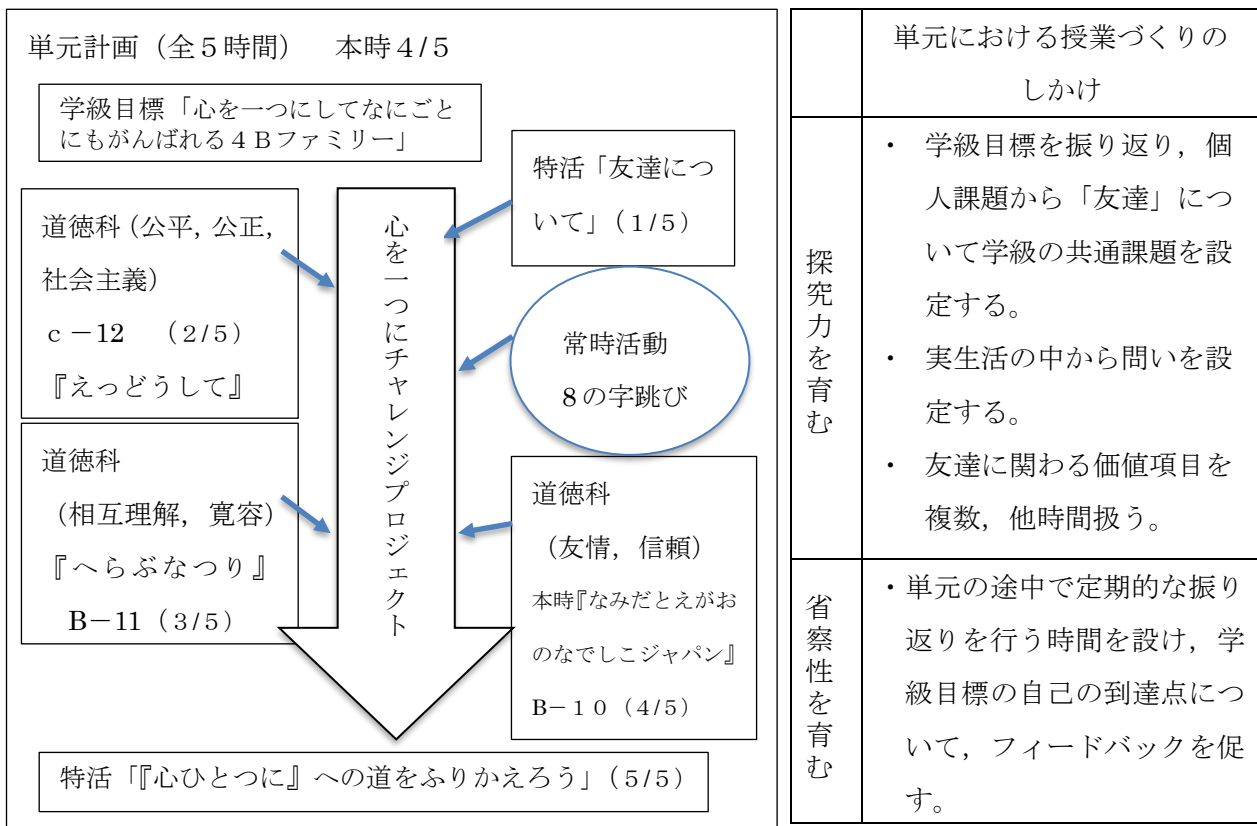
学級目標「心を一つにしてなにごとにもがんばれる4Bファミリー」を軸に考える。特活「友達について」で、学級目標を振り返りながら、「友達との関係の在り方」に関する学級の共通テーマを話し合い、学級の追求テーマを設定する。また、道徳科『なみだとえがおの「なでしこジャパン」』では、1学期から取り組んでいる8の字跳びと関連付けることで、自分の経験と結びつけながら「よりよい友達との関係の在り方」について考えることができるだろう。単元の最終には、特活で、追求課題の振り返りを行う。

5. どのように学ぶのか

①働かせたい思考スキル

くらべる つなげる まとめる 広げる 予想する 見方を変える

③ 学習内容を理解し、資質・能力を育成するための学習過程



6. 何が身に付いたか

- ・よりよい友達との関係の在り方について、多様な考えに気付くことができたかや自分なりの考えをもち、生活に生かそうとできたかで記述による個人内評価をする。